

# まちづくりニュース



## ごあいさつ

春暖の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。また、日頃は、稲沢市政に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、稲島東地区（以下、「本地区」という）におきましては、今年度より稲島東地区まちづくり勉強会を立ち上げ、まちづくりの方向性について検討を重ねてまいりました。つきましては、今年度検討いたしました成果として、まちづくりニュースを送付いたします。

今後とも、本地区のまちづくりに対しまして、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## 1. 上位計画における位置づけ

稲沢市都市計画マスタープラン（令和2年4月運用開始予定）において、駅周辺へ都市機能の集積・既成市街地の定住人口の維持を図るため、駅周辺の市街化調整区域を新たな市街地として整備していく方針が掲げられています。

国府宮駅周辺の市街化調整区域である本地区におきましても、『まちなか居住を促進する新たな市街地整備』を推進する地区に位置づけ、今後10年をめどに実現していくための取組みを進めます。



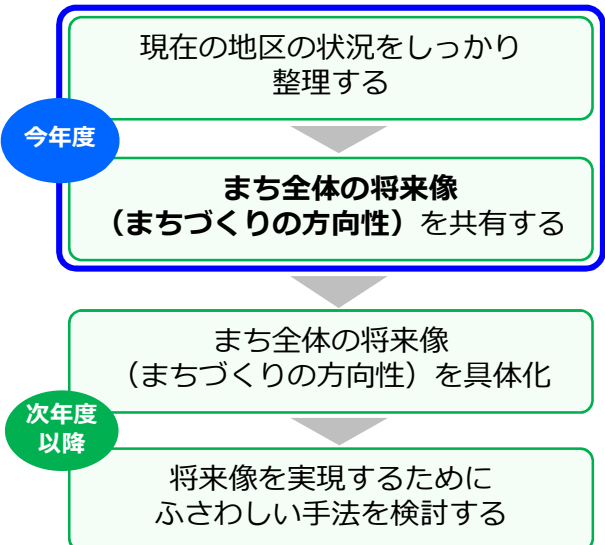
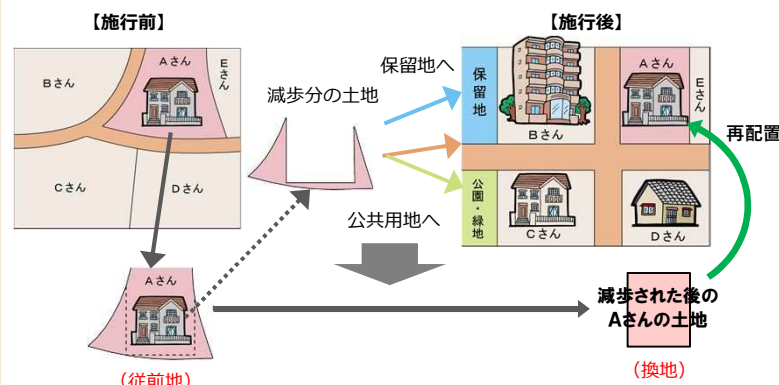
## 2. 新たな市街地整備に向けた取組の検討

本地区における新たな市街地整備の手法は、土地区画整理事業が有力であると考えています。また、まちづくりを計画的に進めるためには、市からの一方的な情報提供では限界があるため、本地区の将来像と一緒に考えていただける方の協力を仰ぎつつ、段階的なステップを踏んだまちづくりを検討することとしました。

### ●土地区画整理事業のイメージ

- ・「**公共用地**」「**保留地**」は、地区内の地権者の土地を出し合うことにより生み出します。この土地の負担を「**減歩**」といいます。
- ・減歩された後、新しく再配置された宅地を「**換地**」といいます。

### ●段階的なステップを踏んだまちづくりのイメージ



# 3. まちづくり勉強会活動を始めました

上位計画等の位置づけを受け、本地区において、主に今後のまちづくりの方向性について検討することを目的に、令和元年度よりまちづくり勉強会活動を始めました。

勉強会メンバーとして地元地権者6名を選出し、今年度は勉強会を計3回開催しました。

- 第1回** 10/11 (金) **テーマ：まちづくり勉強会について**
  - ・これまでの検討経緯
  - ・今年度の活動について
  - ・上位計画、周辺市町村における位置づけ
- 第2回** 11/19 (火) **テーマ：まちの課題抽出と基本構想①**
  - ・まちの課題図の検討
  - ・基本構想図の検討 など
- 第3回** 1/22 (水) **テーマ：まちの課題抽出と基本構想②**
  - ・まちの課題図の検討
  - ・基本構想図の検討 など

# 4. 今年度の活動報告

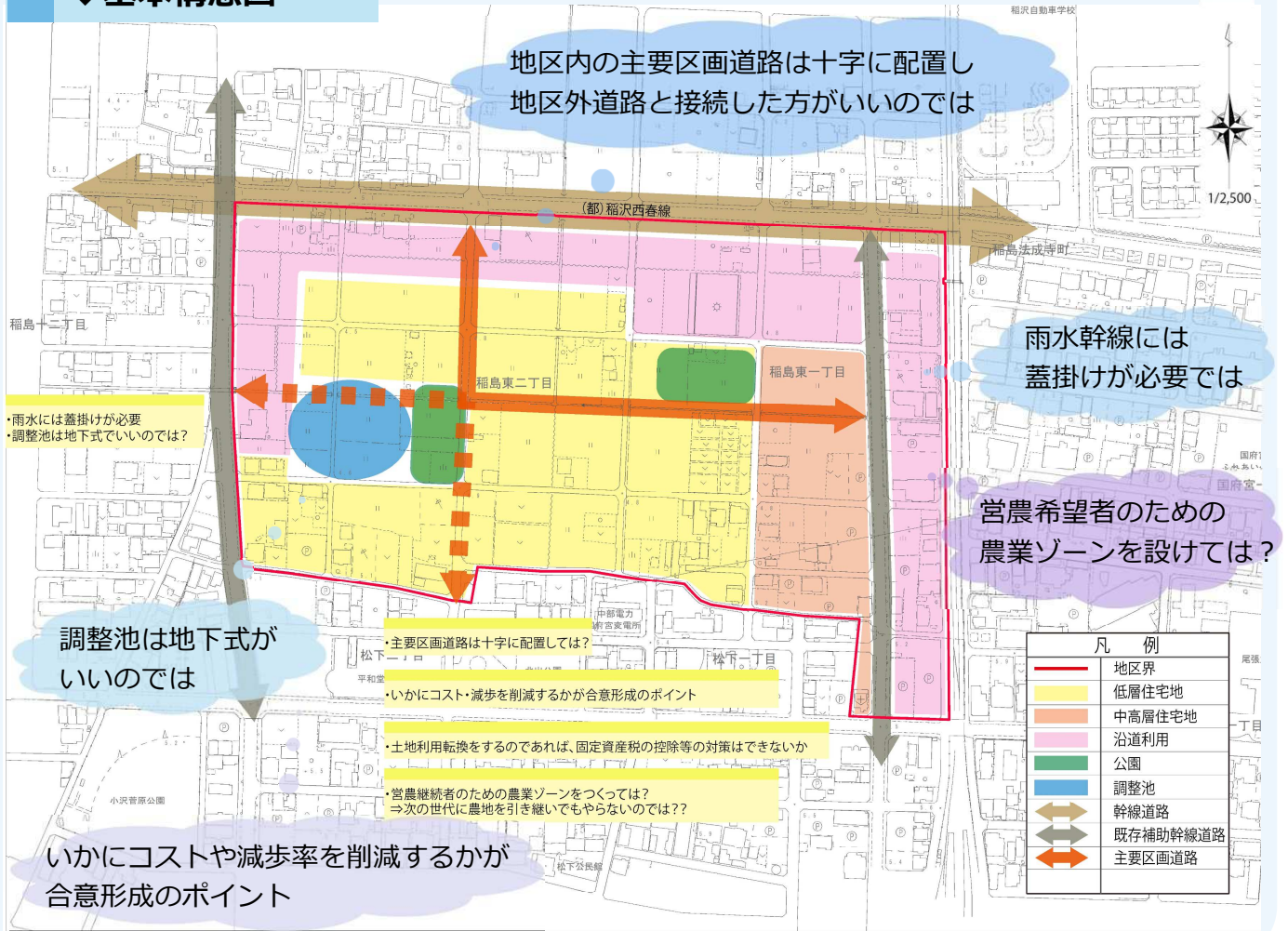
計3回の勉強会にて検討した内容と勉強会メンバーから出た主な意見を報告します。

勉強会内容	
まちの課題の抽出	現在、本地区が抱えている問題や課題を共有
基本構想イメージの共有	将来のまちのあり方を話し合い、そのイメージを共有
基本構想図（たたき台）の作成	将来の都市施設・土地利用を想定し、その配置計画を共有

## ◆まちの課題図



## ◆基本構想図



来年度以降は、地権者のみなさまの意見も伺いながら、この基本構想図をより精度の高いものに更新していく予定です！！

## 5. 来年度の予定

来年度も引き続きまちづくり勉強会や意見交換会を開催する予定です。それに加え、地権者のみなさまの土地利用意向やまちづくりに対する考え等を改めてお聞きするため、意向調査も予定しています。

今後とも、ご理解とご協力をお願い致します。

### ●来年度のスケジュール（案）

	2020年（令和2年）										2021年（令和3年）		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
意向調査				→									
まちづくり勉強会				●			●			●			
まちづくり意見交換会											●		

※時期等はあくまで予定であり、変更する可能性がありますのでご了承ください。

## (参考) トピック

国を挙げて  
取り組んでいます！

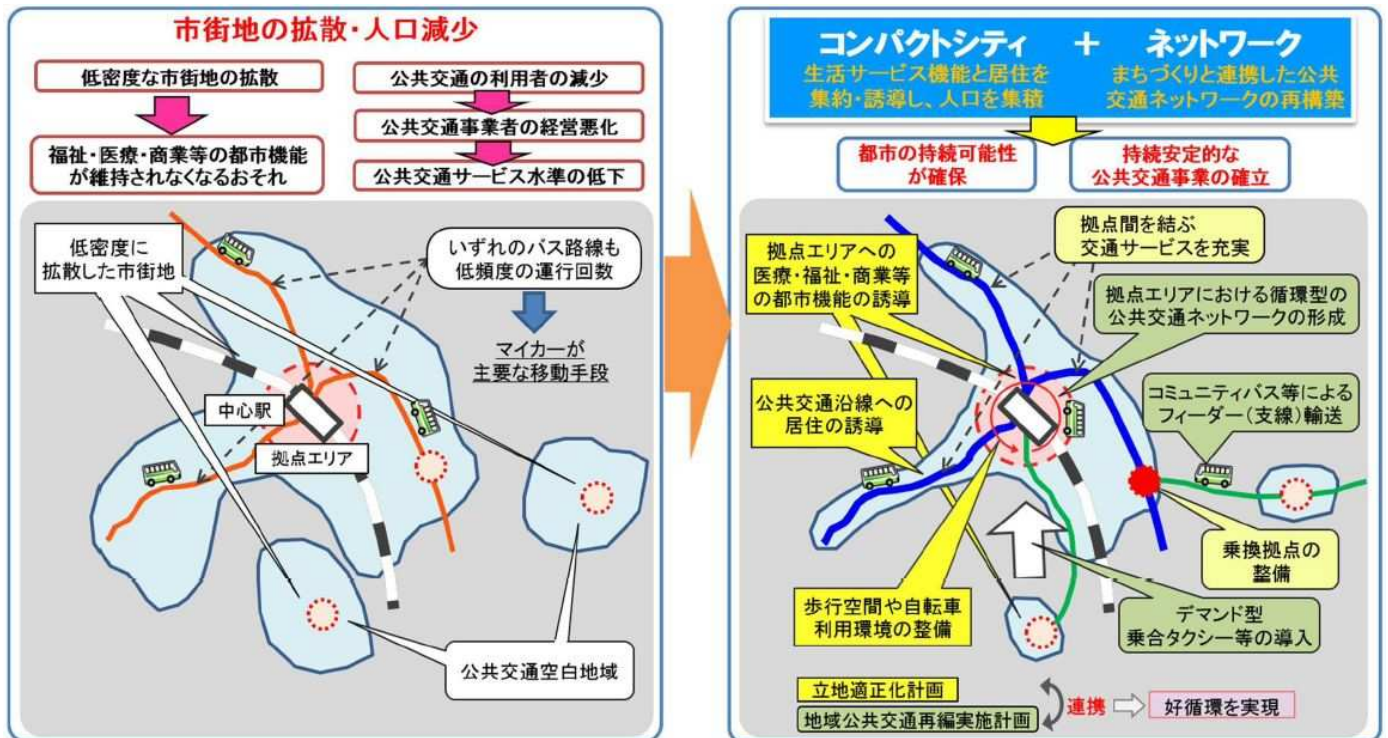
### ◆「コンパクト・プラス・ネットワーク」

少子高齢化、人口減少の時代に突入した日本において、インフラなどの各種サービスを効率的に提供するためには、地方に大きく広がっているヒトやモノを集約化（コンパクト化）することが不可欠です。併せて、都市と都市をつなぎ（ネットワーク化）、交流を高めることで国全体を発展させていくことが必要です。

➡ この考え方を、**コンパクト・プラス・ネットワーク**といいます。

高齢者に関わらず、多世代において生活利便性の高い主要駅への定住ニーズは今後一層高まると予想されるため、駅周辺の市街地整備について、国を挙げて取り組んでいます！

### ●コンパクト・プラス・ネットワークのイメージ（国土交通省HPより）



駅周辺に位置する稲島東地区も、市の都市計画マスタープランにおいて「まちなか居住を促進する新たな市街地整備」を進める地域に位置づけられており、稲沢市の良好な住宅地形成に向けて**重要な役割を担っている**と言えます！！



### < まちづくりニュースに関する問合せ先 >

稲沢市 建設部 都市計画課 (担当：仙田)

TEL : 0587-32-1486 (直通)

FAX : 0587-34-1872